

品種 だいこん 6月播種に適し高品質な「貴宮」

「貴宮」は、現在春播きで使用されている「天宝」よりやや強い萎黄病抵抗性を持ち、6～7月播きの「宮小町」より高い晩抽性と同程度の品質を有し、6月播種作型に適する。なお「貴宮」は平成13年に本県の推奨品種として採用された。



写真1 「貴宮」

来歴 両親に「みの早生×時無」選抜後代の萎黄病抵抗性晩抽系統と「宮重×打木源助」選抜後代の品質の良い萎黄病抵抗性青首系統を用いた一代交配種。

適応作型 6月上旬～下旬播種作型

- 特性**
- (1) 萎黄病抵抗性は「天宝」よりやや強いが、「宮小町」よりは弱い。
 - (2) 抽だいは遅く、6月播種の「宮小町」より晩抽性である。抽だい株率が概ね10%以下になるのは、播種後20日間の日平均気温が13℃以上の場合であると推測される。
 - (3) 青首部は「宮小町」よりやや淡く、根部の総太り型割合は「宮小町」より高い。
 - (4) 裂根や横縞症などの生理障害の発生は「宮小町」より少ない。
 - (5) 低温伸長性が劣るため、生育後半が低温に遭遇しやすい7月以降の播種は避ける。

表1 収穫時の生育

播種日	調査日	品種名	調整重 (g)	根長 (cm)	根径 (cm)	抽だい株 (%)	障害発生割合(%)					
							す	黒	空	裂	縞	かさ
6月9日	8月3日	宮小町	913.5	31.0	6.9	90(95)	0	5	0	0	50	0
		貴宮	887.5	29.0	6.9	0(0)	0	0	0	0	0	0
6月26日	8月31日	宮小町	934.5	31.6	7.2	0(0)	0	0	0	40	0	20
		貴宮	949.0	32.3	7.0	0(0)	0	0	0	0	0	5
7月10日	9月14日	宮小町	1372.0	40.8	7.3	0(0)	0	0	0	40	0	0
		貴宮	1102.0	32.8	7.3	0(0)	0	0	0	0	0	0

注1) 県北農業研究所 平成12年度の試験データ。

注2) 抽だい株は花茎長が1cmを超えるもの。()内は花芽形成株。

注3) 障害はそれぞれ、す入り、黒変症、空洞、裂根、横縞症、かさぶた。

表2 現地における萎黄病発生程度

品種名	発病株率(%)	
	H6.8.11播種	H9.7.31播種
天宝	84.6	11.1
宮小町	0.0	0.0
貴宮	64.7	0.0

注1) 平成6年度は多発圃場での試験データ。

注2) 平成9年度は萎黄病汚染度の弱い圃場での調査データ。

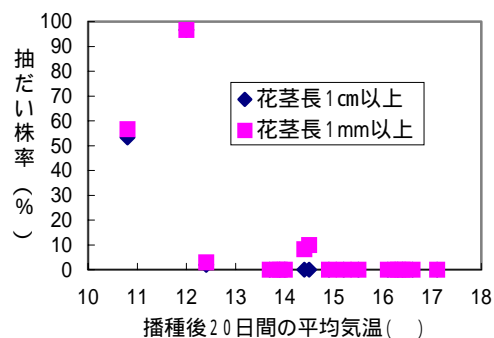


図1 「貴宮」の抽だい温度